

発行日:2021年10月14日

発行者:広報チーム

リハニュース 学習会号

リハビリ科で「第36回日本臨床栄養代謝学会学術集会」の伝達講習会を行いました。



講習会に参加した言語聴覚士から「栄養状態とリハビリ」について、PCでのオンデマンド配信を視聴しながらの伝達講習を行いました。

アルブミン値やサルコペニア・フレイル、COPD患者の栄養・運動等について知識を深めました。



学習会 こぼれ話し

当院の高齢患者の中では低栄養状態によりサルコペニア・フレイル状態を招き、間接的に日常生活動作(ADL)や嚥下機能等に低下を来しているケースが増えています。

一般病棟～回復期病棟の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の合計23名が参加されました。「栄養状態から運動強度を設定できるようにしたい」「COPDと栄養・運動について栄養科と相談してみたい」等、それぞれの視点から改めて「栄養状態とリハビリ」について学び・考える良い機会となりました。

